

パリ2024オリンピック男子アジア予選

開催日	2023年10月21日(土)	会場	DUHAIL SPORT HALL		
試合	予選ラウンド				
チーム名		スコア			チーム名
日本	32	15	前半	16	クウェート
		17	後半	14	

No.	名前	得点	戦況
1	中村 匠	0	<p>パリオリンピックアジア予選の3戦目はクウェート代表と対戦。アジア大会では3位決定戦で対戦し苦杯を舐めた相手(30対31)。クウェートでは同大会で銅メダルを獲得した。</p> <p>この試合もIHFから派遣された国際審判員のドイツ人ペアが担当した。</p> <p>日本はプレーメーカーに安平、部井久と渡部がバックコート、サイドには泉本と元木、ポストに吉田の布陣。守備はGKに中村、笠原と吉田をセンターDF、2枚目DFに渡部と部井久、1枚目DFに元木と泉本を配置した「6-0DF」でゲームスタート。</p> <p>試合開始直後から両チームともに動きに固さが見られ、試合も膠着状態が続く。日本は元木のサイドシュートなどで加点するが、吉田のポストシュートが相手GKのセーブに合うなどしてなかなかリズムを掴めない。対するクウェートは日本のDF陣が低くなったところをミドルシュートなどで得点してゲームの主導権を握り始める。日本は渡部のインターセプトから自身がカットインを決めるなど好プレーを見せるものの、退場者を出してしまい苦しい時間が続く。前半24分過ぎから吉田のポストシュート、部井久のカットイン、東江のカットインで3連続得点。14対13と逆転に成功する。しかし、その直後からクウェートは7人攻撃を仕掛けて連続得点。15対16で前半終了。</p> <p>後半も開始直後から一進一退の攻防が続く。</p> <p>日本は後半2分過ぎからクウェートが退場者を出している間などに、元木のサイドシュートや部井久のディスタンスシュート、渡部のカットインで3連取。DFシステムも5-1DFに変更。対するクウェートは7人攻撃で対応する。後半13分には22対21と1点差リード。しかし、直後に3連続失点を喫してしまい再度逆転を許す。22対24。嫌なムードが漂うが、日本はDFで耐え凌ぎ、徳田新のカットイン、徳田新の速攻、吉田のパスカットからのエンブティーゴール、吉野が獲得した7MTのチャンスを安平が決めて4連取。後半20分過ぎには26対24。その後、クウェートが更なる退場者を出す際にも、渡部のサイドシュートや吉野のディスタンスシュートなどで得点を重ねる。後半28分過ぎにはタイムアウトを請求。タイムアウト時の指示通りコンビネーションから渡部がディスタンスシュートを決めて勝負あり。</p> <p>32対30で勝利。</p>
2	安平 光佑	5	
3	徳田 廉之介	0	
7	蔦谷 大雅	0	
13	吉田 守一	5	
15	部井久アダム勇樹	5	
19	徳田 新之介	2	
20	渡部 仁	5	
21	岡本 大亮	0	
25	元木 博紀	5	
27	玉川 裕康	0	
31	吉野 樹	1	
33	東江 雄斗	2	
37	泉本 心	0	
44	高野 颯太	2	
74	笠原 謙哉	0	